

Visual Expand Module

AT-VEM610PUD

MADE IN JAPAN



Ver1.0X.XX

USERS MANUAL

Expand

ナビ未装着MINI専用の外部映像入力装置です。

コントロール対応地デジチューナーはExpand、アルバイン、バイオニア、Elut、データシステム、パナソニックです。

AV2入力にてElut製DVDプレーヤーのコントロール対応です。

(アルバイン地デジ、ElutDVDをコントロールするには別売のAT-IR335が必要です。)

車両には外部音声入力AUXが無い為、USB経由で入力するA/Dコンバーターを内蔵しています。

USB経由での音声入力には約0.4秒の遅延が発生する為、AV1/AV2への入力映像に遅延を掛ける映像遅延回路も内蔵しています。

- ⚠ 注意**
- 当製品は純正モニターに外部映像を入力する為の機器です。車両システムは高度に制御された通信で動作していますが、稀に外来ノイズなどの影響で正常動作が出来なくなる可能性があります。
 - PCやスマートフォンなどが目れにフリーズなど正常動作出来ない不具合が起きるのと同様とお考え下さい。不具合などについては13ページの「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

もくじ

- 1 もくじ、商品構成
- 2 VEMメニューの設定1 操作方法
- 3 VEMメニューの設定2 映像入力設定
- 4 VEMメニューの設定3 映像出力設定、リバースアクション設定
- 5 VEMメニューの設定4 その他設定
- 6 VEMメニューの設定5 メンテナンスモード、アップデート、ステータス表示
- 7 外部映像の表示方法
- 8
- 9 コントロール対応地デジチューナー操作表
- 10 コントロール対応地デジチューナー操作表
- 11
- 12 DVDプレーヤーコントロール操作表
- 13 ご使用に当たっての注意事項、故障かな?と思ったら1
- 14 故障かな?と思ったら2
- 15 簡易操作マニュアル(基本操作)

商品構成



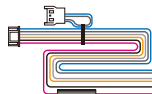
AT-DEM610PUD本体



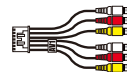
HSDモニターケーブル



HSD延長ケーブル



電源/CANハーネス



AV入力ハーネス



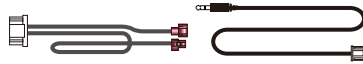
AV出力ハーネス



5P信号出力ハーネス



6Pカメラ変換ハーネス



A/Dコンバーター用
HSDケーブル



3PUリモコン
コントロールケーブル



UPDATE用USBケーブル



コーションステッカー



保証書



ユーザーマニュアル



セットアップマニュアル

VEMメニューの操作

車両を起動してiDriveコントローラーの「MENU」ボタンを長押しします。VEMメニューが表示されます。

右下にはプログラムVerが表示されています。

iDriveコントローラーのダイヤルを回すと赤枠アイコンが移動します。

赤枠アイコンでどのような設定が出来るのか説明文が画面上部に表示されますので確認しながら操作して下さい。

iDriveコントローラーのダイヤルをプッシュしますと赤枠アイコンの決定動作となります。

既に選択されている項目はハイトーン色のアイコンで表示されています。また使用不可の機能はトーンダウンしたアイコンで表示されています。

複数設定出来る項目はハイトーン色アイコンを再度プッシュで選択解除されます。

設定項目の多い機能では選択する事で次の階層メニューに進みます。



タッチパネル操作にも対応しています。

アイコンをタッチすると赤枠が移動してどのような設定が出来るのか説明文が画面上部に表示されます。

赤枠アイコンを再度タッチする事で決定動作となります。



入力設定

当製品の各入力のON/OFFの他、詳細設定を行います。



リバースアクション設定

リバース時などに当製品にどのようなアクションをさせるか設定します。



その他設定

各種サービス機能の設定などを行います。



ステータスマニター

車両状態をグラフィカルに表示するステータスマニターの表示用アイコンです。



メンテナンスモード

ディーラーなどでメカニックの方が作業する際に使用します。ユーザー様が行う動作では有りません。



プログラムアップデート

当製品のファームウェアのUPDATEをする際に入ります。



戻る

前の画面に戻ります。

映像入力設定

各入力のON/OFF設定

デフォルトでは各入力は「使用する」設定になっています。接続しない入力は「使用しない」に切り換えて下さい。

※接続していない入力呼び出されてしまいますと映像信号が無い為ブルースクリーンが出てしまいます。

※「使用しない」を選択した時点で呼び出しボタン設定も破棄されます。後に「使用する」に切り換えた場合には呼び出しボタン設定も行ってください。

AV2入力とCamera2入力は切換方式でどちらか片方のみ使用可能です。(デフォルトではAV2使用となっています。)

Camera2入力を「使用する」にした場合、AV2は強制的に「使用しない」となります。

この部分はインストラクターが適切な設定をしています。変更して適切な動作が出来なくなる場合があります。

Camera2ではCamera1同様の設定方法となりますがCamera2専用電源コントロール機能は有りません。

AV入力とCamera入力の違い

AV入力の場合、映像と音声に関わります。音声をA/DコンバーターでUSB経由で車両システムから再生させるのですが車両の特性上0.4秒ほど遅延が発生します。

AV1/AV2の映像入力部には遅れてしまう音声に対して映像を遅らせて同期を合わせる映像遅延回路が搭載されています。

Camera入力はリアルタイムな映像をそのまま表示出来る設計になっています。

※AV2/Camera2切換部は選択した方式に合わせ映像遅延ON/OFFが決定します。

AV1 or AV2を視聴中にCamera入力を呼び出しても切り換わるのは映像のみで音声はそのまま再生され続けます。リヤモニターを接続した場合にはその部分に出力されるのはAV1/AV2の映像となります。Camera入力の映像はリヤモニター出力へは出力されません。

映像入力設定

ラストソース



このアイコンを選択しておきますと、例えばAV1の地デジ視聴したまま車両OFFにした場合は次回車両起動時に自動的にAV1入力呼び出します。この機能OFFで使用している場合は次回車両起動時は必ず純正画面から起動します。(デフォルトではOFF設定です。)

- ※ラストソース使用の場合車両起動時に純正の警告があった場合でも外部映像に切り換わってしまいますので警告を見れない可能性が出ます。
- ※自動で表示される為、裏の純正画面が「ようこそ」のままだったりするとオーディオが再生されないままになる場合があります。

呼び出しボタンの設定



各入力呼び出すボタンを設定します。デフォルト設定では下記のボタンが登録されています。

AV1	プログラマブルボタン1～6で設定可	デフォルトでは1番が設定されています。
AV2	プログラマブルボタン1～6で設定可	デフォルトでは2番が設定されています。
Camera 1	[MENU]2連打][VOICE]2連打][OK]2連打	デフォルトではMENU]2連打が設定されています。
Camera 2	[MENU]2連打][VOICE]2連打][OK]2連打	デフォルトではこの入力はOFFです。

※AV入力の呼び出しボタンはプログラマブルボタンです。A/Dコンバーター経由で再生しますのでボタンの機能にUSBソースの呼び出しを登録します。このようにする事で映像と音声をワンタッチで呼び出せます。

(USBソース上でデバイスの認識後に再生されますのでロード中の間は再生されません。4～5秒掛かります。)

各入力のOSD設定



各入力呼び出した際に画面左上に1秒間表示するマークを選択します。

- ※OSD表示している1秒間は他の操作は受け付けません。OSDが消えてから操作してください。
- ※設定で「使用しない」も選択可能です。
- ※Camera入力にバックカメラを装着してリバースアクションで呼び出される場合はOSD表示されません。ガイドラインが優先されます。

IR信号設定



この部分はインストーラーが適切な設定をしています。変更して適切な動作が出来なくなる場合があります。

AV入力は特定の製品のリモコン信号出力対応となっています。取り付けした機器に合わせて設定しますと車輛スイッチである程度のコントロールが出来るようになります。

Camera 1 入力専用電源

この部分はインストーラーが適切な設定をしています。変更して適切な動作が出来なくなる場合があります。

Camera 1入力には専用の電源出力があります。その出力タイミングを設定します。



Camera LINK

Cameraを表示する時に電源を出力します。Cameraを接続する際の設定です。



IG-ON LINK

IG-ONで電源を出力します。レーダー探知機などに使用すると便利です。



CAN LINK

車輛がスリープから起きると電源を出力します。ドライブレコーダーなどに使用すると便利です。

View Point機能



例えばFカメラを装着した場合、見通しの悪い地点で表示する操作を行う事になります。この機能はカメラを表示したい地点を登録して自動呼び出しをする機能となります。カメラを表示したい地点でこのメニューに入りA～Gの何れかのアイコンに場所を登録します。ハイトーン色で登録完了です。

次回からその地点へ25km/h以下の速度で近づくと自動でカメラ画面に切り換わります。A～Dが半径約30m、E～Gが半径約50mの範囲で動作します。エリア内でも30km/h以上に加速すると自動的にOFFになります。

画質調整



各入力は個別に画質調整が可能です。個々に希望の画質に調整してご使用下さい。

画質調整アイコンを選択しますと、そのソースの映像に切り換わります。画面上部に調整項目が表示されます。

iDriveコントローラーを左右にスライドしますと調整項目(赤色)が移動します。ダイヤルを回す事で調整を行います。調整が終わったら「戻る」アイコンでVEMメニューに戻ります。

リバースアクション設定

リバースアクション設定 この部分はインストーラーが適切な設定をしています。変更して適切な動作が出来なくなる場合があります。



外部映像視聴中にバックギヤなどに入れた際にどの画面を表示させるかの設定です。純正バックカメラ装着車両はデフォルトのままでもOKです。外部映像視聴中でもバックギヤに入ると純正映像に戻り純正バックカメラ映像が表示されます。



純正バックアシスト装備付き車両の設定です。カメラやPDC画面を消す操作で元の画面に戻ります。



純正バックアシスト装備付き車両でCamera1入力も使用した設定です。Camera1映像を小窓表示出来ます。



純正バックアシスト装備付き車両でCamera2入力も使用した設定です。Camera2映像を小窓表示出来ます。



純正バックアシスト装備無し車両で社外バックカメラも使用しない設定です。外部映像視聴中にバックに入っても画面切り換えしません。



バックに入るとCamera1入力を呼び出します。Camera1にバックカメラを装着した場合の設定です。



バックに入るとCamera2入力を呼び出します。Camera2にバックカメラを装着した場合の設定です。

カメラ映像小窓表示を選択した場合は小窓の位置は画面タッチで変更可能です。小窓部分をタッチして移動したい場所にスワイプします。更にステアリングの↑↓ボタンで小窓のサイズが変更可能です。

このリバースアクション動作はPDC優先モードで動作しています。つまり画面上にPDC映像が表示される状態の時はリバースアクションに突入します。

バックギヤの際はカメラ映像+PDCイラストとなり、PDCスイッチ操作では単体起動も出来る装備です。PDCイラスト表示時はリバースアクション中となりPDCイラストを消す操作でリバースアクション終了となります。

またPDC装備無し車両はバックギヤ連動でリバースアクションに入ります。

取り付け時にDIPスイッチ設定でPDC付き車輜でもバックギヤ連動のみに設定可能です。(この場合PDC単体起動ではリバースアクションは行えません。)

その他設定

リモート信号の設定 この部分はインストレーターが適切な設定をしています。変更して適切な動作が出来なくなる場合があります。



このリモート信号機能を使用しません。



リモート信号が入力されるとCamera 1 入力を強制呼び出します。



リモート信号が入力されるとCamera 2入力を強制呼び出します。

操作確認音設定



当製品の機能を操作する時に車輻スピーカーから「ブツ」とブザー音を鳴らす事が出来ます。

入力切換え操作時や車両スイッチでリモコン操作する時やVEMメニュー操作する時など「ブツ」とブザー音が鳴ります。



ブザー音は鳴りません。(デフォルト設定です。)

A/Dコンバーターゲイン調整



USB経由での外部AV機器の音声入力のボリュームレベルを調整します。
入力された音声が入りすぎない範囲で他のソースボリュームに近くなるように調整します。
機器により余り上げられない場合も有ります。ご了承下さい。

サービス電源設定



サービス電源で用意している(赤)線の出力方法を変更出来ます。

キー連動で12V出力を開始します。IG-OFFで出力停止です。(デフォルト設定です。)



車両がスリープから起き上がると12V出力を開始します。
IG-OFF後車両が第1スリープ(CAN信号停止)で出力停止です。

セーフティモードについて



当製品のAV入力に接続した機器の映像を走行中に制限するかの設定です。

LOCK

車両が停車中のみ視聴可能です。走行すると「安全のため、停車時のみ動画は表示されます。」とOSD表示されます。



UN LOCK

走行中でも視聴可能になりますが、解除はあくまでも自己責任でお願いします。

メンテナンスモードについて

これはユーザー様が操作する事は有りません。ディーラーなどで車輛プログラミングの際にエラーを回避する為にメカニックの方に操作してもらおうモードです。

BMWメカニックの方へ

OBDIIヘテスター接続でプログラミング作業を行う際はメンテナンスモードに入れて当製品の動作を停止して下さい。メンテナンスモード画面で説明文が表示されますので一読してください。

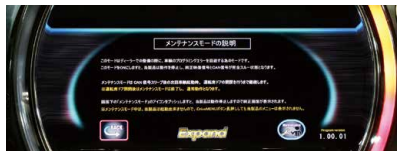
※画面を出さなくてもiDriveコントローラーMENUボタン10秒長押しで強制的にメンテナンスモードに突入も出来ます。

メンテナンスモード中は当製品の純正映像回路とCAN信号回路がバイパス状態となり純正状態同様になります。メンテナンスモードが終了するまで当製品は動作しなくなります。

メンテナンスモードを終了するには下記2つの条件を満たす必要が有ります。

- ① 車両OFFで第1スリープ以上に突入させる。
(車両のCAN信号停止)
- ② 車両を起動してIGを立ち上げ、運転席ドアの開閉信号を与える。
(開け閉めしてください。)

これで当製品は通常動作に戻ります。



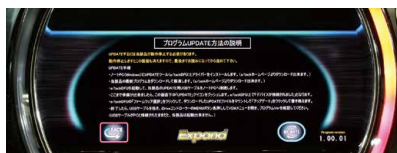
プログラムUPDATEについて

当製品は安定性向上やバグ修正、新たな機能の追加など改良を常に行っています。

既に装着済み製品でも最新プログラムを適応する事が簡単に出来る設計となっています。車両から取り外す必要は有りません。製品付属のUPDATE用USBケーブルとノートPCを接続して行います。

UPDATEの方法に関しては、弊社HPで詳しく紹介していますのでそちらをご覧ください。

※当製品のVEMメニューを開きますと右下に現在のプログラムVerが表示されています。HPで公開のVerより古い場合はUPDATEする事で機能追加されたり安定性が向上したりします。



ステータスモードについて

タコメーター表示	トルクメーター表示	パワーメーター表示
スピード表示	油温表示	水温表示
シフトポジション表示	ヨーレート表示	ステアリング操舵角表示
Gセンサー表示	ブレーキ表示	



上記の表示が可能です。

VEMメニューのアイコン選択すると表示されます。また純正画面状態でiDriveコントローラーの「OPTION」長押しでも呼び出せます。ブレーキ表示は画面右下の「Expand」文字が変化します。

一部の表示項目はピーク値が赤ラインで表示され続けます。ピーク値のリセットは一旦ステータスモニター画面を閉じて下さい。

AV1/AV2に接続したAV機器の視聴の際に表示サイズを16:9モードにした場合、AV映像はモニター左側に寄り右側にステータスモニターの一部を表示するモードも搭載しています。

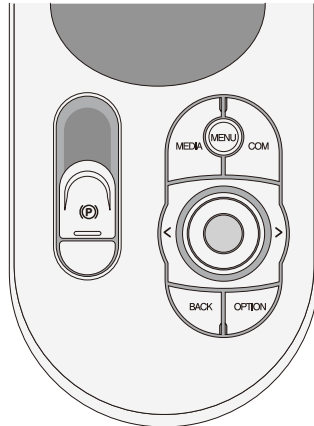
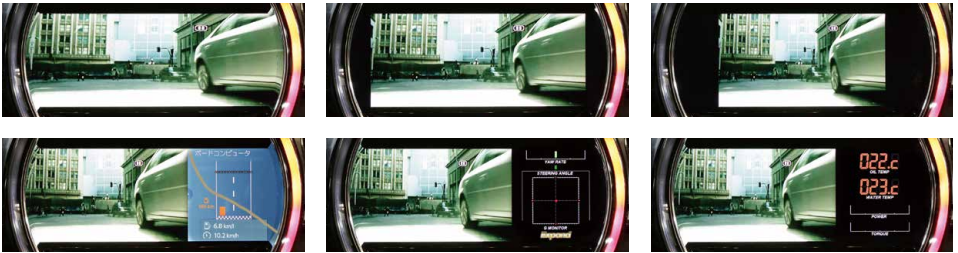
外部映像の表示方法

外部映像の表示方法

AV1/AV2はVEMメニューで設定した呼び出しボタン(オーディオ部1~6ボタン)を押すことで呼び出されます。呼び出しボタンを押す度に表示画面サイズが変更出来ます。

- ① FULLスクリーン(画面全体に表示します。)
- ② MINIモニターの形状で四隅が隠れないサイズで表示します。
- ③ 16:9比率を保ちモニター中央に表示します。
- ④ 16:9比率で左寄せして右側には純正映像(2画面表示)
- ⑤ 16:9比率で左寄せして右側にはステータス表示(ヨーレート/ステアリング操舵角/Gセンサー/ブレーキ)
- ⑥ 16:9比率で左寄せして右側にはステータス表示(油音表示/水温表示/トルクメーター表示/パワーメーター表示)

呼び出しボタンはプログラマブルボタンとなっていますので音声入力しているUSBソースの呼び出しを登録しておく事でタッチで映像と音声呼び出されます。プログラマブルボタンへの登録は純正機能です。メディアソース一覧の画面でUSBにダイヤルを合わせ、数字ボタンの長押しで登録されます。



Camera1/Camera2もVEMメニューで設定した呼び出しボタン操作で呼び出されます。

設定可能ボタンは「MENUボタン2連打」「VOICEボタン2連打」「OKボタン2連打」

カメラ映像はFULLスクリーンのみでの表示となります。

その他、リバースアクション連動設定したり、リモート信号連動設定なども出来ます。

Camera1にアルパイン製フロントカメラを装着した際はカメラ映像が映っているモニター部をタッチする事で表示映像が3/パターン切り換わります。

当製品にはA/Dコンバーターが内蔵されていてUSB経由だと音声に遅延が発生します。(約0.4秒)

当製品のAV1/AV2入力には音声遅延に同期させる為映像信号も遅延させる映像遅延回路も搭載しています。音声とズレない状態でAV機器を楽しめます。

カメラ入力部はリアルタイムで映像を表示します。

内蔵A/Dコンバーターについて

当製品には外部AV機器の音声をUSBソース経由で車両に入力するA/Dコンバーターを内蔵しています。内蔵A/DコンバーターはAV1/AV2を呼び出す操作で動作開始します。動作開始しますと純正USB端子側が切り離されて使用不可となり、外部AV機器音声側がUSBに接続されます。

- ※接続開始時はヘッドユニットが認識するまで「ロード中」となる為5秒ほど経過後に音声再生されます。
- ※A/Dコンバーターが動作中は純正USB端子は切り離されています。機器の充電なども出来ません。
- 充電目的の場合は別途シガーアダプタなどを使用して下さい。

一度A/Dコンバーターが動作開始すると、iDriveコントローラーの「MEDIA」ボタンを押すまで動作を継続します。つまりMENUボタンなどで純正画面に戻している間でもA/Dコンバーターは動作中となる為、外部AV機器の音声再生が継続されます。純正USB端子側を使用する場合に「MEDIA」ボタンを押します。A/Dコンバーターが動作停止して純正USB端子が使用可能になります。

- ※A/Dコンバーターは動作開始時にロード中の為5秒ほどの無音状態がありますが動作停止させないままラジオなどの別ソースに移行も出来ます。その場合は再度USBソースに戻した時は既に認識済みの為即座に再生出来ます。

当製品のAV1/AV2の呼び出し操作はプログラマブルボタンを使用しています。設定したボタンを押す事で映像が切り換わります。

プログラマブルボタンにUSBソースを登録(純正機能)する事でワンタッチで映像と音声を切り換える仕組みです。

稀に音声再生が始まらない場合の操作

稀にA/Dコンバーターが認識出来ない状態になったり、認識出来ていても音声再生が始まらないような現象が起きる場合があります。

認識して再生されない場合は一度「MEDIA」ボタンを押してA/Dコンバーターを動作停止してから再度呼び出しますと改善するはずです。

- ※この時純正USB端子に機器接続している場合は連続となる早い操作は行わないで下さい。
- 機器は認識の為「ロード中」となりますのでこのロード中に切り換え動作が繰り返されると認識不具合となる場合があります。

認識出来ない状態となっている場合はヘッドユニットがバグっている状態です。ヘッドユニットの再起動が必要です。オーディオスイッチ部の「MODE」ボタンを5秒間長押しする事でヘッドユニットを再起動させるコマンドを当製品が出力します。ヘッドユニットが再起動しますので一旦画面が消え、オープニング画面から始まります。

プログラマブルボタンにUSBソースを登録する方法

純正のメディアソース選択の画面状態にします。(FM、AM、Bluetoothなどが並んでいる画面です。)

ダイヤルを操作してUSBソースに合わせます。※決定動作はしないでください。

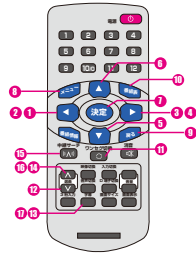
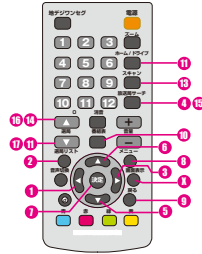
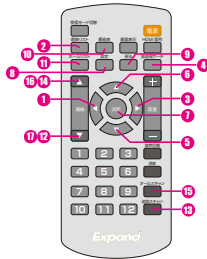
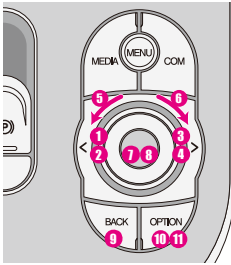
その状態で登録したいプログラマブルボタンを長押しします。(登録されると確認音が出ます。)

これで完了です。確認する為純正画面状態にして登録したプログラマブルボタンに触れます。※押さずに触れるだけです。

画面上部から登録内容が表示されますのでUSBソースが登録されている事を確認します。

A/Dコンバーターが既に動作開始している場合デバイス名として「AT-DEM610PUD」と表示されます。

各地デジチューナーの操作表



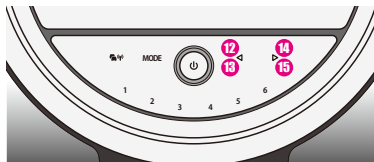
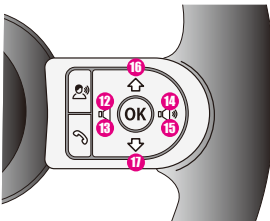
純正スイッチでの操作

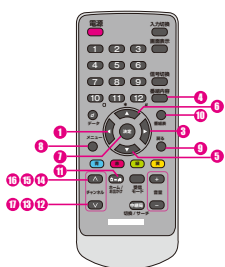
Expand

パイオニア/ユニデン

データシステム

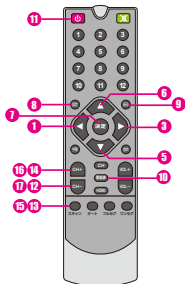
ダイヤル←スライド	1 ショート	1 リモコンの←ボタン	1 リモコンの←ボタン
ダイヤル←スライド	2 ロング	2 リモコンの選局リストボタン	2 リモコンの←ボタン長押し
ダイヤル←スライド	3 ショート	3 リモコンの→ボタン	3 リモコンの→ボタン
ダイヤル←スライド	4 ロング	4 リモコンの放送局サーチボタン	4 リモコンの→ボタン長押し
ダイヤル左回転	5	5 リモコンの↓ボタン	5 リモコンの↓ボタン
ダイヤル右回転	6	6 リモコンの↑ボタン	6 リモコンの↑ボタン
ダイヤルプッシュ	7 ショート	7 リモコンの決定ボタン	7 リモコンの決定ボタン
ダイヤルプッシュ	8 2連打	8 リモコンの設定ボタン	8 リモコンのメニューボタン
BACK	9 ショート	9 リモコンの戻るボタン	9 リモコンの戻るボタン
OPTION	10 ショート	10 リモコンの番組表ボタン	10 リモコンの番組表ボタン
OPTION	11 ロング	11 リモコンのホームリストボタン	11 リモコンのホームドライブボタン
オーディオ部←	12 ショート	12 リモコンの選局↓ボタン	12 リモコンのチャンネル↓ボタン
オーディオ部←	13 ロング	13 リモコンの追加スキャンボタン	13 リモコンのスキャンボタン
オーディオ部→	14 ショート	14 リモコンの選局↑ボタン	14 リモコンのチャンネル↑ボタン
オーディオ部→	15 ロング	15 リモコンのオールスキャンボタン	15 リモコンの放送局サーチボタン
ステアリング↑	16 ショート	16 リモコンの選局↑ボタン	16 リモコンのチャンネル↑ボタン
ステアリング↓	17 ショート	17 リモコンの選局↓ボタン	17 リモコンのチャンネル↓ボタン





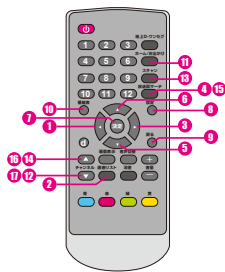
パナソニック

- 1 リモコンの←ボタン
- 2 無し
- 3 リモコンの→ボタン
- 4 リモコンの番組内容ボタン
- 5 リモコンの↓ボタン
- 6 リモコンの↑ボタン
- 7 リモコンの決定ボタン
- 8 リモコンのメニューボタン
- 9 リモコンの戻るボタン
- 10 リモコンの番組表ボタン
- 11 リモコンのホーム/お出かけボタン
- 12 リモコンのチャンネル↓ボタン
- 13 チャンネル↓長押し
- 14 リモコンのチャンネル↑ボタン
- 15 チャンネル↑長押し
- 16 リモコンのチャンネル↑ボタン
- 17 リモコンのチャンネル↓ボタン



Elut

- 1 リモコンの←ボタン
- 2 無し
- 3 リモコンの→ボタン
- 4 無し
- 5 リモコンの↓ボタン
- 6 リモコンの↑ボタン
- 7 リモコンの決定ボタン
- 8 リモコンの設定ボタン
- 9 リモコンの戻るボタン
- 10 リモコンの番組表ボタン
- 11 リモコンの電源ボタン
- 12 リモコンのCH-ボタン
- 13 リモコンのスクリーンボタン
- 14 リモコンのCH+ボタン
- 15 リモコンのスクリーンボタン



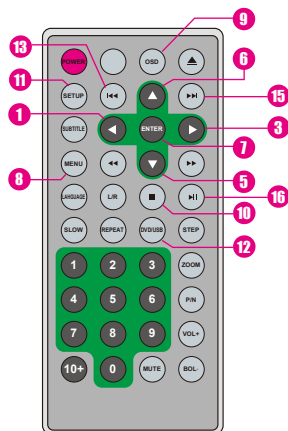
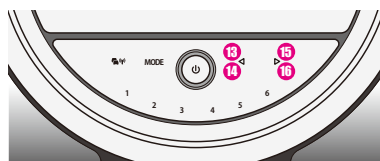
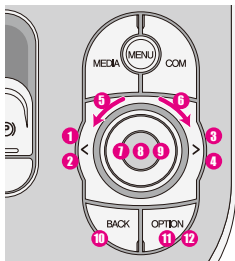
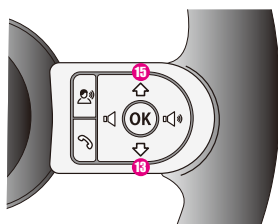
アルパイン

- 1 リモコンの←ボタン
- 2 リモコンの選局リストボタン
- 3 リモコンの→ボタン
- 4 リモコンの放送局サーチボタン
- 5 リモコンの↓ボタン
- 6 リモコンの↑ボタン
- 7 リモコンの決定ボタン
- 8 リモコンの設定ボタン
- 9 リモコンの戻るボタン
- 10 リモコンの番組表ボタン
- 11 リモコンのホーム/お出かけボタン
- 12 リモコンのチャンネル↓ボタン
- 13 リモコンのスクリーンボタン
- 14 リモコンのチャンネル↑ボタン
- 15 リモコンの放送局サーチボタン
- 16 リモコンのチャンネル↑ボタン
- 17 リモコンのチャンネル↓ボタン

● 地デジ映像の上部/下部をタッチしても、チャンネル変更ができません。

Elut製DVD/カイホウ製DVDプレーヤーのコントロール

AV2入力の表示連動でElut製DVD/カイホウ製DVDプレーヤーAG401DV/AG410-DV/KH-DV201のコントロールが車輪スイッチで可能になります。(専用IRケーブルAT-IR335での接続が必要)



ダイヤル←スライド	1 ショート	リモコンの←ボタン
ダイヤル←スライド	2 ロング	
ダイヤル→スライド	3 ショート	リモコンの→ボタン
ダイヤル→スライド	4 ロング	
ダイヤル左回転	5	リモコンの↓ボタン
ダイヤル右回転	6	リモコンの↑ボタン
ダイヤルプッシュ	7 ショート	リモコンのENTERボタン
ダイヤルプッシュ	8 2連打	リモコンのMENUボタン
ダイヤルプッシュ	9 ロング	リモコンのOSDボタン
BACK	10 ショート	リモコンの■ボタン
OPTION	11 ショート	リモコンのSETUPボタン
OPTION	12 ロング	リモコンのDVD/USBボタン
オーディオ部←	13 ショート	リモコンのI◀◀ボタン
オーディオ部←	14 ロング	
オーディオ部→	15 ショート	リモコンの▶▶ボタン
オーディオ部→	16 ロング	リモコンの▶▶ボタン
ステアリング↑	17 ショート	リモコンの▶▶ボタン
ステアリング↓	18 ショート	リモコンの◀◀ボタン

ご使用に当たって注意事項

現在の車輛は各電子機器が高度に制御されたバス信号で通信されています。
稀に起きる不具合などで再現方法が確定出来ない症状の場合は外来ノイズの影響を受けている場合があります。
(※違法無線機搭載車輛やEMC対策の不十分な電子機器搭載など、ノイズを発生している機器搭載車輛とのすれ違いない…)
当製品はEMC対策なども十分に行い、地デジチューナーやGPSへの干渉なども起こらないように設計しています。
製品のプログラム上でも動作に不具合を検知した場合は自動的に復帰動作するように設計しています。
車輛純正の電子ユニット類でも稀に誤動作や再起動が起きる場合があるのも外来ノイズの悪影響と思われる。
パソコンやスマートフォンが時々フリーズしたりするのと同じように現在の多機能な電子機器ではある程度避けられない現象です。
ご了承ください。

故障かな?と思ったら

外部入力呼び出せなくなった…

まずiDriveコントローラーの「MENU」ボタンの長押しでVEMメニューが表示されるか確認して下さい。

VEMメニューが表示されない…

当製品がメンテナンスモード状態か本体故障かヒューズ切れです。
まずキーOFFで約1分放置(スタータースイッチのLED消灯後約5秒)した後に再起動して運転席ドアの開閉動作を行って下さい。
その後iDriveコントローラーのHOMEボタン長押しでVEMメニューが表示されればメンテナンスモード中だったと言う事です。
それを行ってもVEMメニューが呼び出せない場合は点検が必要です。
ヒューズ切れなどで当製品が動作出来ない場合は信号系は全てバイパス状態となってますので純正機能ご問題は有りません。

VEMメニューは表示される…

何らかの設定ミスで入力の呼び出しボタンが未設定になっている可能性があります。
VEMメニューからその入力の呼び出しボタンの設定を行ってください。

iDriveモニター画面が映らなくなった…

この症状には幾つかの違いがあります。下記の何れかの状態を確認して下さい。

VEMメニューが表示されない…

ブラック画面に赤字で「NO SIGNAL」。オーディオは鳴っている…
何らかの理由で純正モニターが当製品がエラーを起こしたと思われます。
純正オーディオ部のボリュームダイヤル横の「MODE」ボタンを5秒長押しして下さい。iDriveシステムが再起動致します。
改善しない場合はiDriveコントローラーの「BACK」ボタン5秒長押しして下さい。当製品が再起動致します。

ブラック画面に赤字で「NO SIGNAL」。オーディオも止まった…
何らかの理由で純正オーディオ部がエラーを起こしたと思われます。
純正オーディオ部のボリュームダイヤル横の「MODE」ボタンを5秒長押しして下さい。iDriveシステムが再起動致します。

「NO SIGNAL」が表示されずに最初からブラックアウト。オーディオは鳴っている…
何らかの理由で当製品の映像出力部にエラーが発生したと思われます。
iDriveコントローラーの「BACK」ボタン5秒長押しして下さい。当製品が再起動致します。

「NO SIGNAL」が表示されずに最初からブラックアウト。オーディオも止まった…
純正オーディオがオーバーヒートなどで停止した可能性があります。
しばらく放置してから純正オーディオ部のボリュームダイヤル横の「MODE」ボタンを5秒長押しして下さい。iDriveシステムが再起動致します。

ブルースクリーンになった…

当製品は当製品の外部入力表示時に映像信号が無ければブルースクリーンを表示します。
外部映像視聴中にブルースクリーンになった場合は外部映像機器からの映像信号が遮断された状態です。
映像信号の接触不良やAV機器側の不具合が考えられます。

故障かな?と思ったら2

純正バックカメラが映らない……

バックギヤに入れると純正カメラ&PDCに切り換わるのですが、PDCイラストは表示されているのにカメラ映像が出ないケースが有るようです……

当製品ではリバースアクションとして純正画面に戻す動作をしているだけなので、PDCイラストは映るがカメラ映像が出ないのは純正システムの不具合です。

純正カメラユニットがエラーを起こしていると思われます。復帰させるには車両を第2スリーブまで入れる必要が有りそうです。

※第2スリーブは車輛OFFでキーロックして約5分ほど放置です。アンロックのままだと時間が掛かります。

使用中にiDriveがいきなり落ちてオープニングから始まった……

何らかのエラー蓄積や自動更新でiDriveコンピューターが再起動を行った可能性が有ります。自己復帰動作ですので極稀に有ります。

純正機能に動作不具合が有る……

これは問題個所の切り分けが必要です。

当製品は新車時に装着するケースが多いと思われますが、不具合の発生原因元が当製品なのか、純正側の何らかのユニットなのかを切り別ける必要が有ります。

車輛に搭載の個々の電子モジュールと当製品のマッチング(相性)が良く無い場合にも不具合を誘発する可能性は有ります。相性問題の場合は不具合内容や発生状況にある程度関連性が有ったりします。

必ず発生する場合や頻度が高く発生する場合はディーラーや取り付け業者にご相談下さい。

極稀に不具合が発生する……

これは避けられないかも知れません……

PCやスマートフォンなどが時々正常動作出来ない時が有るのと同じ感じですが。

車輛の電子機器や当製品などは高度な電子技術の集合体です。

外来ノイズなどが想定を超えた場合は不具合が出る可能性は有ります。

車輛にもEMC対策の不十分な製品は取り付けないようにしてください。

ドラレコ、5V電源変換、LED類など……設計が不十分でノイズを発生している場合が有ります。

ディスプレイリングLEDが消えてしまった……

これは当製品がシステムに介入する事で発生し易くなる現象です……

現在対策プログラムで改善しておりますが、この症状は世界的にみれば純正状態でも稀に発生しているようです……

車両起動中にリングLEDが消えてしまった場合は純正ヘッドユニットの再起動が必要です。

オーディオ部の「MODE」ボタンを5秒ほど長押しして下さい。

一旦モニターが消えMINIのオープニング画面から始まります。同時に当製品も再起動が掛かります。

※この症状は稀に起り得る症状です ご了承下さい。

※その他、不具合っぽいかな?と思われる事などが有りましたら弊社へお問い合わせ下さい。

また装着されている製品のプログラムVerをご確認下さい。

HPで公開しているVerより古い場合はUPDATEで改善する可能性も有ります。(更新内容もHP記載してあります)

※装着した外部機器に特化した部分は外部機器の取説をご確認下さい。

※その他、不具合っぽいかな?と思われる事などが有りましたら弊社へお問い合わせ下さい。

また装着されている製品のプログラムVerをご確認下さい。

HPで公開しているVerより古い場合はUPDATEで改善する可能性も有ります。(更新内容もHP記載してあります)

※装着した外部機器に特化した部分は外部機器の取説をご確認下さい。

